政治經濟講演會講演集　第五十六輯　昭和十二年七

レオン・トロツキー著

裏切られたる革命

—ソヴエト聯邦の實体と其の前途—

ロンドン　一九三七年

國政研究會

群馬県立図書館
中島文庫

7163

注 意 事 項

○資料は大切に扱いましょう。
○資料は転貸借はお断りします。
○15日間の期限に必ず返して下さい。
○資料を汚損または紛失した時は同一の資料又は相当代価を弁償していただきます。

群馬県立図書館
前橋市日吉町一丁目14-8
電話（0272）㉛3008番

No. 1

レオン・トロツキー著

裏切られたる革命

—ソヴエト聯邦の実情と其の前途—

Leon Trotsky, (Trans by Max Eastman)
The Revolution betrayed: What is the Soviet Union and Where is it Going? Faber and Faber Limitted, London
1937. pp. 372

ロンドン、フアーバー書店、一九三七年五月
—全三一二頁—

12.7.5

府立第一商業學校同窓會用箋

第6

稿

本書はスターリンの政敵トロツキーが、政治的、社會的、経済的、外交的、軍事的、文化的等あらゆる観点より、スターリン治下のソ聯の現実に対し、辛辣なる批判を下し、ソ聯の内部矛盾を摘発し、殊に社会的階級分裂、官僚政治の成生発展、官閥の横暴を痛烈に論難し、スターリンの所謂「一國社会主義」は遂にその破綻を生み、新しき革命が必然的に発生することを豫断せるものである。

最近ソ聯に於ける所謂合同本部事件、並行本部事件、赤軍清掃事件と相続いて、ソ聯内政上刮目的事件が報道さるゝ折柄、注目に値する書物である。但し本書は序文の日附が昨年八月四日とあるが、合同本部事件起訴前脱稿印刷に附された関係上、上記諸事件自体には触れて居らぬが、斯る事態を生

むに至つた実状はそを窺知し得るのである。固よりトロツキーの論述には独断的であると感ぜられる節々がないではないが、兎も角最近世界に於ける最も問題的な出版の一つであつてこの英訳が出版されるやト　相当評論界の問題になつて居る模様である。

その序文に於てトロツキーは曰く

「本書の目的はソ聯に於て如何なる事態が今後発生するかを知らんが為めに、その現状を正確に測定するにある。本書は批判的のものである。元来成就した事実を崇拝して居る者は、将来に備へる能力のない者である。

ソ聯はその経済的並に文化的発展に於て既に数個の段階を経て来てゐるが、未だ内面的均衡には決して到達してゐない。ソヴエト社会に於ける矛盾は資本主義社会に於ける矛盾と大に異つては居るが、その矛盾は極めて深刻であり、物質的並に文化的不平等、政治的弾圧、政治的分派、徒党の訌争に現はれてゐる。」と。

ここまで「かとうの中へ入れ」

No. 4

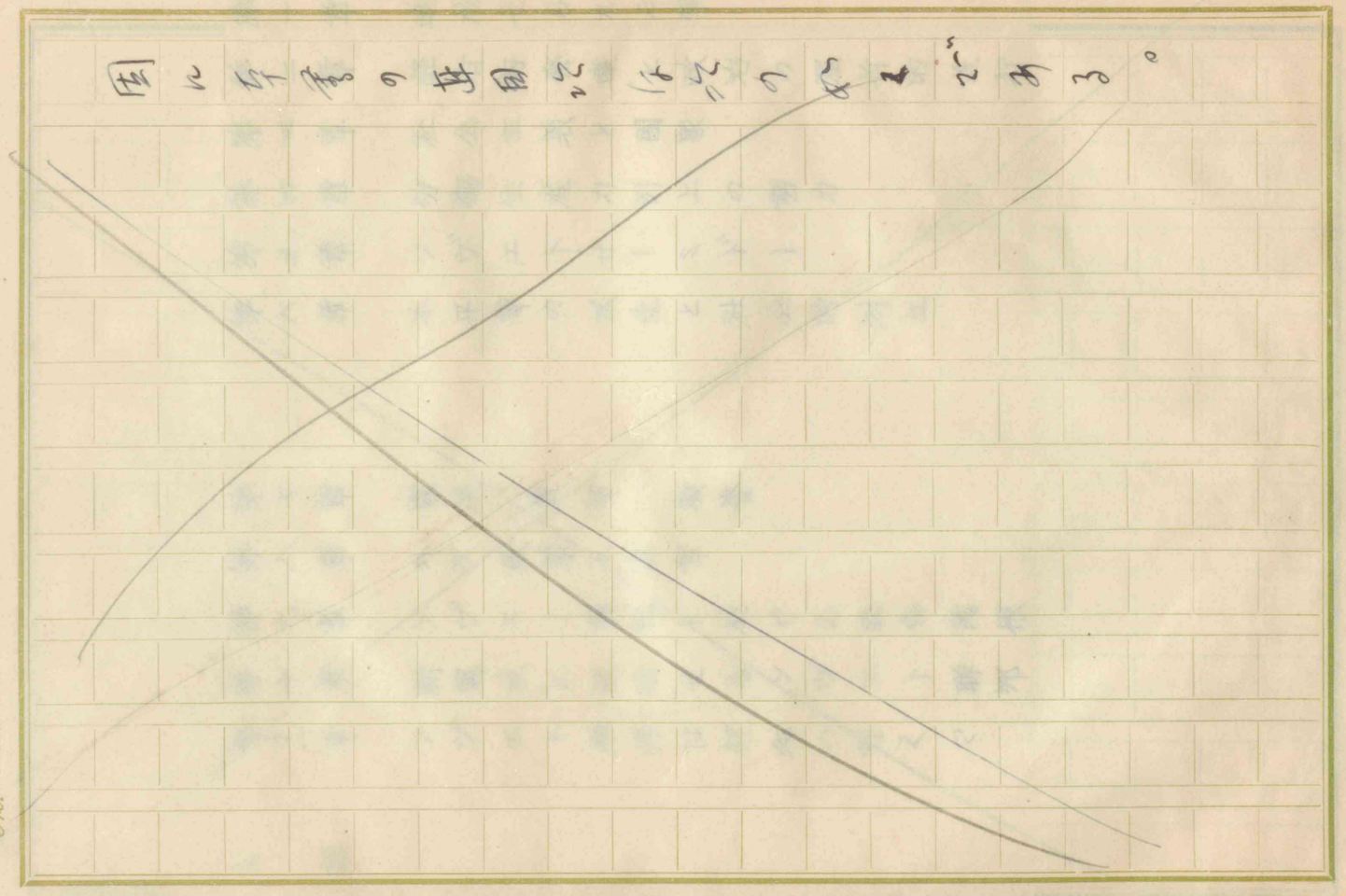
現家三人ニ至リ大冊ニ亦ニ他ニ者味深キ
君後ノ一章即チ第十章ヲソガエト稱シ何所
ヘ行クヲ之ヲ記分ス。為ト[本書ニまとめられ]ハ[illegible]ノ感
情ヲ見ヲ[illegible]明ニスルガ如ク文イハ
[illegible]文藝的鑑ニ從
ヒ解説ヲ加シ為[illegible]
ヲ[illegible]第八章第五節
ヲ戰時ニ於テ[illegible]ヲ記分スル。

一、解説。

二、ソガエト稱邦ハ何所ヘ行クヲ、

三、(沿)戰ハ如ニ於テ[illegible]ヲ知エト稱邦。

池野用箋


同じく春の時間だけ
だんだんと
下がってゆく
池野用蒙

第一章　達成せられた事
第二章　經濟的発達と政治の風物的進行
第三章　社会主義と國家
第四章　労働生産力引上の努力
第五章　ソヴエト・サーミドー
第六章　不平等の成生と社会的対立
第七章　家族、青年、教養
第八章　外交政策と赤軍
第九章　ソヴエト聯邦に於ける社会関係
第十章　新憲法に反映せるソヴエト聯邦
第十一章　ソヴエト聯邦は何処へ行く？

附録

一、「一國社会主義」
二、「我輩は生命を賭して居る」

革命は徹底的でなければならない。中途半端であってはならない。従って革命なる事革命であらねばならない。

外部諸外国の望ましい一国内社会主義は帝国主義と提携する必ずしも結合する條約の成立を期待せしめるものは単に露西亜に対する革命的プロレタリア独裁と結

池野用箋

我が、ら、ら、ら

ソ新刊の夢見る。夢は何なのか。ユリ子は夢見ては、ユリ子の夢は何なのか。ユリ子は夢見る。ユリ子の

問題

人間は物質的に考へる。

人間は物質的に考へる。

人間は物質的に考へる。

処子に口シアに於ては、その一時的なるものか、一面、革命的気分の沸騰と地面支配官僚階級の[illegible]の新量を減退せんがために、之を煽動化しつゝあるもの。而して政府は官僚階級から超越して[illegible]そのこんきょとなってゐる。

かゝる事態に対して等いれわれは[illegible]

[illegible]の陰謀によるものである。

[illegible]

官僚閥とその從者は

の發動をみてゐる現狀

を指摘し、ソ稱印の意

し

しかも四分の半分を言葉にしてゐるのである。

×

×

×

第四インターナショナル

革命運動を見た理論

手段で、それは決定的に

トロツキストの見たる

俸をまとめてゐると

ソ稱印は於ける

ソ連邦の本質に関し

「ソ連邦は社会主義と社会主義
の中間にあって第三の段階に属
するものであるとされる。
一、国家権力に社会主義的性質を帯へ得る程
生産力が進展していない。
二、資本主義的諸要素が計画経済の[illegible]の間に
らされている。
三、新しい社会的階級を異にする者が発
かれた生産手段を奪ひ取る。
四、経済的要素はまだ一般的傾向を
[illegible]

池野用箋

以上述べたる如く、地方特別階級を意識した形

跡なしとみる。

五、社会的対立を形成し、風俗改造的所立し

、社会主義と結合い、

一国階級をなして居る。

六、

、資本発達

資本発達によって農村より社会革命は

勿論政治関係迄に一般的大衆の意識に生

じて居る。

七、

本稿の結論のごとくして、社会主義へも

且み得るし、資本主義へも且み得る。

八、資本主義への進展に於ては、文革命が各
御者の交流を破らねばならない。
也、社会主義への進展に於ては、各御者は官
僚政治を廃さねばならない。
×　×　×

而してトロツキーの意図する処は
第四インターナショナルを世界革命意識を
用ひ持ちて進展を継続すべきものである。

この文である。

第十一章

一、危機の政治としてのボナパルチズム

Bonapartisme as a Regime de crise

ソヴエト社会は調和的に融合された社会主義的形態の見地から見れば、官僚政治の政策などの予備擬着が極めて顕著である。然し新しい支配階級の权力を強大なものとする見地からすれば、極めて一見合目的なものである。

一九二三年から二八年にかけて政府は富農（クラーク）を支持し
たが、之は社会主義の将来にとって致命的な
危険を蔵するものであった。然し吉野は
プチ、ブルの擁護によりプロレタリア前衛の
要を掌握し、ボルシェヴィキの反対派を抑圧
する為に社会主義的見地から政策を正に誤
れば之の政策は正に誤った。社会主義的見地から
すると富農（クラーク）が直接官僚政治の見地からは正
に国家政治自体を骨抜にするものである。
官僚政治（官僚政治）
に対しては、富農（クラーク）に予を向けたのである。

ブランク

富農延いて中農に対する排撃のパニックは外国の侵入と相俟って官僚政治は自らの地位を守るに努めつゝあったが、而して以前の沖周たる富農・中農を根絶する事に成功する事や、全力を挙げて新しき農業政治の発展に努めなければならぬのである。かくて同論社会主義を愛し、ブランク

配階級を強大ならしめつゝあるのである。ソヴエト官僚政治はあらゆる反配階級を孤立

一般政治に於ける指導者の最大の[illegible]誤に対

しかるに今日の教育界は如何に多くの人士の教育に対する関心を高めつゝあるかを見て、教育界の為に慶賀に堪へざるものがある。

池野用箋

~~組織等級の問題~~

~~組織等級の問題は~~会計制度の時代に始んと無関心であつたが、組織等級の問題は官衙に今や決定的なものとなつて来る。又官衙に対し会計部を上部より独立させると共に更に又出来る様の場合官衙自体は直接工場管理に関心を持つ、スタハノフ運動者は生産現場の欠点を補ふのである。

（意味なし）

~~不平に思つて来て~~

支配階級は強制機関を強力且つ永続的なものにする為に勿論その権力を所得とを確保する為め、何人を職業にするを許さなくてはならないのである。而して軍隊の奪取か支配階級に不利になれば成る程、国民の直接に対し無異になるのである。

斯くの如くスタートに公要なのである事がッが官僚政治は不可侵の神聖武装を必要とする。

池野用愛

[illegible]

[illegible]

[illegible]

製品の品質を向上させるためには、生産者と
消費者のデモクラシーが、批判の自由と創意が
あることが必要であるが、批評は恐
怖、沮喪、退縮に満ちた創造の全体を美的レヴェル
にはなし得ないのである。

品質の問題より更に複雑な大なる問題が
ある——即ち技術的、文化的創造の
問題である。自由な思想と闘争の不可能な所で
は新しき価値は創造され得ない。

スタートリヒの所謂「居住の強さ」は現実には

その地位を第一に何物をも恐れず、一階

級（支配階級）の綜合に過ぎ

なかつたのである。然るにそトリヒは宮澤政治の人格

化に外ならない。のである。

作の主題

ボナパルチズムは、その本質の国内の発達の光鏡化した

ボナパルチズムは、その本質の国内の発達の光鏡化した

ボナパルチズムは、その本質の国内の発達の光鏡化した

No. 26

行ごとに一字宛、或は二字宛、或は三字宛、或は四字宛、或は五字宛、或は六字宛、或は七字宛、或は八字宛、或は九字宛、或は十字宛、或は十一字宛、或は十二字宛、或は十三字宛、或は十四字宛、或は十五字宛、或は十六字宛、或は十七字宛、或は十八字宛、或は十九字宛、或は二十字宛、或は二十一字宛、或は二十二字宛、或は二十三字宛、或は二十四字宛、或は二十五字宛、或は二十六字宛、或は二十七字宛、或は二十八字宛、或は二十九字宛、或は三十字宛、或は三十一字宛、或は三十二字宛、或は三十三字宛、或は三十四字宛、或は三十五字宛、或は三十六字宛、或は三十七字宛、或は三十八字宛、或は三十九字宛、或は四十字宛、或は四十一字宛、或は四十二字宛、或は四十三字宛、或は四十四字宛、或は四十五字宛、或は四十六字宛、或は四十七字宛、或は四十八字宛、或は四十九字宛、或は五十字宛、或は五十一字宛、或は五十二字宛、或は五十三字宛、或は五十四字宛、或は五十五字宛、或は五十六字宛、或は五十七字宛、或は五十八字宛、或は五十九字宛、或は六十字宛、或は六十一字宛、或は六十二字宛、或は六十三字宛、或は六十四字宛、或は六十五字宛、或は六十六字宛、或は六十七字宛、或は六十八字宛、或は六十九字宛、或は七十字宛、或は七十一字宛、或は七十二字宛、或は七十三字宛、或は七十四字宛、或は七十五字宛、或は七十六字宛、或は七十七字宛、或は七十八字宛、或は七十九字宛、或は八十字宛、或は八十一字宛、或は八十二字宛、或は八十三字宛、或は八十四字宛、或は八十五字宛、或は八十六字宛、或は八十七字宛、或は八十八字宛、或は八十九字宛、或は九十字宛、或は九十一字宛、或は九十二字宛、或は九十三字宛、或は九十四字宛、或は九十五字宛、或は九十六字宛、或は九十七字宛、或は九十八字宛、或は九十九字宛、或は百字宛、或は百一字宛、或は百二字宛、或は百三字宛、或は百四字宛、或は百五字宛、或は百六字宛、或は百七字宛、或は百八字宛、或は百九字宛、或は百十字宛、或は百十一字宛、或は百十二字宛、或は百十三字宛、或は百十四字宛、或は百十五字宛、或は百十六字宛、或は百十七字宛、或は百十八字宛、或は百十九字宛、或は百二十字宛、或は百二十一字宛、或は百二十二字宛、或は百二十三字宛、或は百二十四字宛、或は百二十五字宛、或は百二十六字宛、或は百二十七字宛、或は百二十八字宛、或は百二十九字宛、或は百三十字宛、或は百三十一字宛、或は百三十二字宛、或は百三十三字宛、或は百三十四字宛、或は百三十五字宛、或は百三十六字宛、或は百三十七字宛、或は百三十八字宛、或は百三十九字宛、或は百四十字宛、或は百四十一字宛、或は百四十二字宛、或は百四十三字宛、或は百四十四字宛、或は百四十五字宛、或は百四十六字宛、或は百四十七字宛、或は百四十八字宛、或は百四十九字宛、或は百五十字宛、或は百五十一字宛、或は百五十二字宛、或は百五十三字宛、或は百五十四字宛、或は百五十五字宛、或は百五十六字宛、或は百五十七字宛、或は百五十八字宛、或は百五十九字宛、或は百六十字宛、或は百六十一字宛、或は百六十二字宛、或は百六十三字宛、或は百六十四字宛、或は百六十五字宛、或は百六十六字宛、或は百六十七字宛、或は百六十八字宛、或は百六十九字宛、或は百七十字宛、或は百七十一字宛、或は百七十二字宛、或は百七十三字宛、或は百七十四字宛、或は百七十五字宛、或は百七十六字宛、或は百七十七字宛、或は百七十八字宛、或は百七十九字宛、或は百八十字宛、或は百八十一字宛、或は百八十二字宛、或は百八十三字宛、或は百八十四字宛、或は百八十五字宛、或は百八十六字宛、或は百八十七字宛、或は百八十八字宛、或は百八十九字宛、或は百九十字宛、或は百九十一字宛、或は百九十二字宛、或は百九十三字宛、或は百九十四字宛、或は百九十五字宛、或は百九十六字宛、或は百九十七字宛、或は百九十八字宛、或は百九十九字宛、或は二百字宛、或は二百一字宛、或は二百二字宛、或は二百三字宛、或は二百四字宛、或は二百五字宛、或は二百六字宛、或は二百七字宛、或は二百八字宛、或は二百九字宛、或は二百十字宛、或は二百十一字宛、或は二百十二字宛、或は二百十三字宛、或は二百十四字宛、或は二百十五字宛、或は二百十六字宛、或は二百十七字宛、或は二百十八字宛、或は二百十九字宛、或は二百二十字宛、或は二百二十一字宛、或は二百二十二字宛、或は二百二十三字宛、或は二百二十四字宛、或は二百二十五字宛、或は二百二十六字宛、或は二百二十七字宛、或は二百二十八字宛、或は二百二十九字宛、或は二百三十字宛、或は二百三十一字宛、或は二百三十二字宛、或は二百三十三字宛、或は二百三十四字宛、或は二百三十五字宛、或は二百三十六字宛、或は二百三十七字宛、或は二百三十八字宛、或は二百三十九字宛、或は二百四十字宛、或は二百四十一字宛、或は二百四十二字宛、或は二百四十三字宛、或は二百四十四字宛、或は二百四十五字宛、或は二百四十六字宛、或は二百四十七字宛、或は二百四十八字宛、或は二百四十九字宛、或は二百五十字宛、或は二百五十一字宛、或は二百五十二字宛、或は二百五十三字宛、或は二百五十四字宛、或は二百五十五字宛、或は二百五十六字宛、或は二百五十七字宛、或は二百五十八字宛、或は二百五十九字宛、或は二百六十字宛、或は二百六十一字宛、或は二百六十二字宛、或は二百六十三字宛、或は二百六十四字宛、或は二百六十五字宛、或は二百六十六字宛、或は二百六十七字宛、或は二百六十八字宛、或は二百六十九字宛、或は二百七十字宛、或は二百七十一字宛、或は二百七十二字宛、或は二百七十三字宛、或は二百七十四字宛、或は二百七十五字宛、或は二百七十六字宛、或は二百七十七字宛、或は二百七十八字宛、或は二百七十九字宛、或は二百八十字宛、或は二百八十一字宛、或は二百八十二字宛、或は二百八十三字宛、或は二百八十四字宛、或は二百八十五字宛、或は二百八十六字宛、或は二百八十七字宛、或は二百八十八字宛、或は二百八十九字宛、或は二百九十字宛、或は二百九十一字宛、或は二百九十二字宛、或は二百九十三字宛、或は二百九十四字宛、或は二百九十五字宛、或は二百九十六字宛、或は二百九十七字宛、或は二百九十八字宛、或は二百九十九字宛、或は三百字宛、或は三百一字宛、或は三百二字宛、或は三百三字宛、或は三百四字宛、或は三百五字宛、或は三百六字宛、或は三百七字宛、或は三百八字宛、或は三百九字宛、或は三百十字宛、或は三百十一字宛、或は三百十二字宛、或は三百十三字宛、或は三百十四字宛、或は三百十五字宛、或は三百十六字宛、或は三百十七字宛、或は三百十八字宛、或は三百十九字宛、或は三百二十字宛、或は三百二十一字宛、或は三百二十二字宛、或は三百二十三字宛、或は三百二十四字宛、或は三百二十五字宛、或は三百二十六字宛、或は三百二十七字宛、或は三百二十八字宛、或は三百二十九字宛、或は三百三十字宛、或は三百三十一字宛、或は三百三十二字宛、或は三百三十三字宛、或は三百三十四字宛、或は三百三十五字宛、或は三百三十六字宛、或は三百三十七字宛、或は三百三十八字宛、或は三百三十九字宛、或は三百四十字宛、或は三百四十一字宛、或は三百四十二字宛、或は三百四十三字宛、或は三百四十四字宛、或は三百四十五字宛、或は三百四十六字宛、或は三百四十七字宛、或は三百四十八字宛、或は三百四十九字宛、或は三百五十字宛、或は三百五十一字宛、或は三百五十二字宛、或は三百五十三字宛、或は三百五十四字宛、或は三百五十五字宛、或は三百五十六字宛、或は三百五十七字宛、或は三百五十八字宛、或は三百五十九字宛、或は三百六十字宛、或は三百六十一字宛、或は三百六十二字宛、或は三百六十三字宛、或は三百六十四字宛、或は三百六十五字宛、或は三百六十六字宛、或は三百六十七字宛、或は三百六十八字宛、或は三百六十九字宛、或は三百七十字宛、或は三百七十一字宛、或は三百七十二字宛、或は三百七十三字宛、或は三百七十四字宛、或は三百七十五字宛、或は三百七十六字宛、或は三百七十七字宛、或は三百七十八字宛、或は三百七十九字宛、或は三百八十字宛、或は三百八十一字宛、或は三百八十二字宛、或は三百八十三字宛、或は三百八十四字宛、或は三百八十五字宛、或は三百八十六字宛、或は三百八十七字宛、或は三百八十八字宛、或は三百八十九字宛、或は三百九十字宛、或は三百九十一字宛、或は三百九十二字宛、或は三百九十三字宛、或は三百九十四字宛、或は三百九十五字宛、或は三百九十六字宛、或は三百九十七字宛、或は三百九十八字宛、或は三百九十九字宛、或は四百字宛、或は四百一字宛、或は四百二字宛、或は四百三字宛、或は四百四字宛、或は四百五字宛、或は四百六字宛、或は四百七字宛、或は四百八字宛、或は四百九字宛、或は四百十字宛、或は四百十一字宛、或は四百十二字宛、或は四百十三字宛、或は四百十四字宛、或は四百十五字宛、或は四百十六字宛、或は四百十七字宛、或は四百十八字宛、或は四百十九字宛、或は四百二十字宛、或は四百二十一字宛、或は四百二十二字宛、或は四百二十三字宛、或は四百二十四字宛、或は四百二十五字宛、或は四百二十六字宛、或は四百二十七字宛、或は四百二十八字宛、或は四百二十九字宛、或は四百三十字宛、或は四百三十一字宛、或は四百三十二字宛、或は四百三十三字宛、或は四百三十四字宛、或は四百三十五字宛、或は四百三十六字宛、或は四百三十七字宛、或は四百三十八字宛、或は四百三十九字宛、或は四百四十字宛、或は四百四十一字宛、或は四百四十二字宛、或は四百四十三字宛、或は四百四十四字宛、或は四百四十五字宛、或は四百四十六字宛、或は四百四十七字宛、或は四百四十八字宛、或は四百四十九字宛、或は四百五十字宛、或は四百五十一字宛、或は四百五十二字宛、或は四百五十三字宛、或は四百五十四字宛、或は四百五十五字宛、或は四百五十六字宛、或は四百五十七字宛、或は四百五十八字宛、或は四百五十九字宛、或は四百六十字宛、或は四百六十一字宛、或は四百六十二字宛、或は四百六十三字宛、或は四百六十四字宛、或は四百六十五字宛、或は四百六十六字宛、或は四百六十七字宛、或は四百六十八字宛、或は四百六十九字宛、或は四百七十字宛、或は四百七十一字宛、或は四百七十二字宛、或は四百七十三字宛、或は四百七十四字宛、或は四百七十五字宛、或は四百七十六字宛、或は四百七十七字宛、或は四百七十八字宛、或は四百七十九字宛、或は四百八十字宛、或は四百八十一字宛、或は四百八十二字宛、或は四百八十三字宛、或は四百八十四字宛、或は四百八十五字宛、或は四百八十六字宛、或は四百八十七字宛、或は四百八十八字宛、或は四百八十九字宛、或は四百九十字宛、或は四百九十一字宛、或は四百九十二字宛、或は四百九十三字宛、或は四百九十四字宛、或は四百九十五字宛、或は四百九十六字宛、或は四百九十七字宛、或は四百九十八字宛、或は四百九十九字宛、或は五百字宛、或は五百一字宛、或は五百二字宛、或は五百三字宛、或は五百四字宛、或は五百五字宛、或は五百六字宛、或は五百七字宛、或は五百八字宛、或は五百九字宛、或は五百十字宛、或は五百十一字宛、或は五百十二字宛、或は五百十三字宛、或は五百十四字宛、或は五百十五字宛、或は五百十六字宛、或は五百十七字宛、或は五百十八字宛、或は五百十九字宛、或は五百二十字宛、或は五百二十一字宛、或は五百二十二字宛、或は五百二十三字宛、或は五百二十四字宛、或は五百二十五字宛、或は五百二十六字宛、或は五百二十七字宛、或は五百二十八字宛、或は五百二十九字宛、或は五百三十字宛、或は五百三十一字宛、或は五百三十二字宛、或は五百三十三字宛、或は五百三十四字宛、或は五百三十五字宛、或は五百三十六字宛、或は五百三十七字宛、或は五百三十八字宛、或は五百三十九字宛、或は五百四十字宛、或は五百四十一字宛、或は五百四十二字宛、或は五百四十三字宛、或は五百四十四字宛、或は五百四十五字宛、或は五百四十六字宛、或は五百四十七字宛、或は五百四十八字宛、或は五百四十九字宛、或は五百五十字宛、或は五百五十一字宛、或は五百五十二字宛、或は五百五十三字宛、或は五百五十四字宛、或は五百五十五字宛、或は五百五十六字宛、或は五百五十七字宛、或は五百五十八字宛、或は五百五十九字宛、或は五百六十字宛、或は五百六十一字宛、或は五百六十二字宛、或は五百六十三字宛、或は五百六十四字宛、或は五百六十五字宛、或は五百六十六字宛、或は五百六十七字宛、或は五百六十八字宛、或は五百六十九字宛、或は五百七十字宛、或は五百七十一字宛、或は五百七十二字宛、或は五百七十三字宛、或は五百七十四字宛、或は五百七十五字宛、或は五百七十六字宛、或は五百七十七字宛、或は五百七十八字宛、或は五百七十九字宛、或は五百八十字宛、或は五百八十一字宛、或は五百八十二字宛、或は五百八十三字宛、或は五百八十四字宛、或は五百八十五字宛、或は五百八十六字宛、或は五百八十七字宛、或は五百八十八字宛、或は五百八十九字宛、或は五百九十字宛、或は五百九十一字宛、或は五百九十二字宛、或は五百九十三字宛、或は五百九十四字宛、或は五百九十五字宛、或は五百九十六字宛、或は五百九十七字宛、或は五百九十八字宛、或は五百九十九字宛、或は六百字宛、或は六百一字宛、或は六百二字宛、或は六百三字宛、或は六百四字宛、或は六百五字宛、或は六百六字宛、或は六百七字宛、或は六百八字宛、或は六百九字宛、或は六百十字宛、或は六百十一字宛、或は六百十二字宛、或は六百十三字宛、或は六百十四字宛、或は六百十五字宛、或は六百十六字宛、或は六百十七字宛、或は六百十八字宛、或は六百十九字宛、或は六百二十字宛、或は六百二十一字宛、或は六百二十二字宛、或は六百二十三字宛、或は六百二十四字宛、或は六百二十五字宛、或は六百二十六字宛、或は六百二十七字宛、或は六百二十八字宛、或は六百二十九字宛、或は六百三十字宛、或は六百三十一字宛、或は六百三十二字宛、或は六百三十三字宛、或は六百三十四字宛、或は六百三十五字宛、或は六百三十六字宛、或は六百三十七字宛、或は六百三十八字宛、或は六百三十九字宛、或は六百四十字宛、或は六百四十一字宛、或は六百四十二字宛、或は六百四十三字宛、或は六百四十四字宛、或は六百四十五字宛、或は六百四十六字宛、或は六百四十七字宛、或は六百四十八字宛、或は六百四十九字宛、或は六百五十字宛、或は六百五十一字宛、或は六百五十二字宛、或は六百五十三字宛、或は六百五十四字宛、或は六百五十五字宛、或は六百五十六字宛、或は六百五十七字宛、或は六百五十八字宛、或は六百五十九字宛、或は六百六十字宛、或は六百六十一字宛、或は六百六十二字宛、或は六百六十三字宛、或は六百六十四字宛、或は六百六十五字宛、或は六百六十六字宛、或は六百六十七字宛、或は六百六十八字宛、或は六百六十九字宛、或は六百七十字宛、或は六百七十一字宛、或は六百七十二字宛、或は六百七十三字宛、或は六百七十四字宛、或は六百七十五字宛、或は六百七十六字宛、或は六百七十七字宛、或は六百七十八字宛、或は六百七十九字宛、或は六百八十字宛、或は六百八十一字宛、或は六百八十二字宛、或は六百八十三字宛、或は六百八十四字宛、或は六百八十五字宛、或は六百八十六字宛、或は六百八十七字宛、或は六百八十八字宛、或は六百八十九字宛、或は六百九十字宛、或は六百九十一字宛、或は六百九十二字宛、或は六百九十三字宛、或は六百九十四字宛、或は六百九十五字宛、或は六百九十六字宛、或は六百九十七字宛、或は六百九十八字宛、或は六百九十九字宛、或は七百字宛、或は七百一字宛、或は七百二字宛、或は七百三字宛、或は七百四字宛、或は七百五字宛、或は七百六字宛、或は七百七字宛、或は七百八字宛、或は七百九字宛、或は七百十字宛、或は七百十一字宛、或は七百十二字宛、或は七百十三字宛、或は七百十四字宛、或は七百十五字宛、或は七百十六字宛、或は七百十七字宛、或は七百十八字宛、或は七百十九字宛、或は七百二十字宛、或は七百二十一字宛、或は七百二十二字宛、或は七百二十三字宛、或は七百二十四字宛、或は七百二十五字宛、或は七百二十六字宛、或は七百二十七字宛、或は七百二十八字宛、或は七百二十九字宛、或は七百三十字宛、或は七百三十一字宛、或は七百三十二字宛、或は七百三十三字宛、或は七百三十四字宛、或は七百三十五字宛、或は七百三十六字宛、或は七百三十七字宛、或は七百三十八字宛、或は七百三十九字宛、或は七百四十字宛、或は七百四十一字宛、或は七百四十二字宛、或は七百四十三字宛、或は七百四十四字宛、或は七百四十五字宛、或は七百四十六字宛、或は七百四十七字宛、或は七百四十八字宛、或は七百四十九字宛、或は七百五十字宛、或は七百五十一字宛、或は七百五十二字宛、或は七百五十三字宛、或は七百五十四字宛、或は七百五十五字宛、或は七百五十六字宛、或は七百五十七字宛、或は七百五十八字宛、或は七百五十九字宛、或は七百六十字宛、或は七百六十一字宛、或は七百六十二字宛、或は七百六十三字宛、或は七百六十四字宛、或は七百六十五字宛、或は七百六十六字宛、或は七百六十七字宛、或は七百六十八字宛、或は七百六十九字宛、或は七百七十字宛、或は七百七十一字宛、或は七百七十二字宛、或は七百七十三字宛、或は七百七十四字宛、或は七百七十五字宛、或は七百七十六字宛、或は七百七十七字宛、或は七百七十八字宛、或は七百七十九字宛、或は七百八十字宛、或は七百八十一字宛、或は七百八十二字宛、或は七百八十三字宛、或は七百八十四字宛、或は七百八十五字宛、或は七百八十六字宛、或は七百八十七字宛、或は七百八十八字宛、或は七百八十九字宛、或は七百九十字宛、或は七百九十一字宛、或は七百九十二字宛、或は七百九十三字宛、或は七百九十四字宛、或は七百九十五字宛、或は七百九十六字宛、或は七百九十七字宛、或は七百九十八字宛、或は七百九十九字宛、或は八百字宛、或は八百一字宛、或は八百二字宛、或は八百三字宛、或は八百四字宛、或は八百五字宛、或は八百六字宛、或は八百七字宛、或は八百八字宛、或は八百九字宛、或は八百十字宛、或は八百十一字宛、或は八百十二字宛、或は八百十三字宛、或は八百十四字宛、或は八百十五字宛、或は八百十六字宛、或は八百十七字宛、或は八百十八字宛、或は八百十九字宛、或は八百二十字宛、或は八百二十一字宛、或は八百二十二字宛、或は八百二十三字宛、或は八百二十四字宛、或は八百二十五字宛、或は八百二十六字宛、或は八百二十七字宛、或は八百二十八字宛、或は八百二十九字宛、或は八百三十字宛、或は八百三十一字宛、或は八百三十二字宛、或は八百三十三字宛、或は八百三十四字宛、或は八百三十五字宛、或は八百三十六字宛、或は八百三十七字宛、或は八百三十八字宛、或は八百三十九字宛、或は八百四十字宛、或は八百四十一字宛、或は八百四十二字宛、或は八百四十三字宛、或は八百四十四字宛、或は八百四十五字宛、或は八百四十六字宛、或は八百四十七字宛、或は八百四十八字宛、或は八百四十九字宛、或は八百五十字宛、或は八百五十一字宛、或は八百五十二字宛、或は八百五十三字宛、或は八百五十四字宛、或は八百五十五字宛、或は八百五十六字宛、或は八百五十七字宛、或は八百五十八字宛、或は八百五十九字宛、或は八百六十字宛、或は八百六十一字宛、或は八百六十二字宛、或は八百六十三字宛、或は八百六十四字宛、或は八百六十五字宛、或は八百六十六字宛、或は八百六十七字宛、或は八百六十八字宛、或は八百六十九字宛、或は八百七十字宛、或は八百七十一字宛、或は八百七十二字宛、或は八百七十三字宛、或は八百七十四字宛、或は八百七十五字宛、或は八百七十六字宛、或は八百七十七字宛、或は八百七十八字宛、或は八百七十九字宛、或は八百八十字宛、或は八百八十一字宛、或は八百八十二字宛、或は八百八十三字宛、或は八百八十四字宛、或は八百八十五字宛、或は八百八十六字宛、或は八百八十七字宛、或は八百八十八字宛、或は八百八十九字宛、或は八百九十字宛、或は八百九十一字宛、或は八百九十二字宛、或は八百九十三字宛、或は八百九十四字宛、或は八百九十五字宛、或は八百九十六字宛、或は八百九十七字宛、或は八百九十八字宛、或は八百九十九字宛、或は九百字宛、或は九百一字宛、或は九百二字宛、或は九百三字宛、或は九百四字宛、或は九百五字宛、或は九百六字宛、或は九百七字宛、或は九百八字宛、或は九百九字宛、或は九百十字宛、或は九百十一字宛、或は九百十二字宛、或は九百十三字宛、或は九百十四字宛、或は九百十五字宛、或は九百十六字宛、或は九百十七字宛、或は九百十八字宛、或は九百十九字宛、或は九百二十字宛、或は九百二十一字宛、或は九百二十二字宛、或は九百二十三字宛、或は九百二十四字宛、或は九百二十五字宛、或は九百二十六字宛、或は九百二十七字宛、或は九百二十八字宛、或は九百二十九字宛、或は九百三十字宛、或は九百三十一字宛、或は九百三十二字宛、或は九百三十三字宛、或は九百三十四字宛、或は九百三十五字宛、或は九百三十六字宛、或は九百三十七字宛、或は九百三十八字宛、或は九百三十九字宛、或は九百四十字宛、或は九百四十一字宛、或は九百四十二字宛、或は九百四十三字宛、或は九百四十四字宛、或は九百四十五字宛、或は九百四十六字宛、或は九百四十七字宛、或は九百四十八字宛、或は九百四十九字宛、或は九百五十字宛、或は九百五十一字宛、或は九百五十二字宛、或は九百五十三字宛、或は九百五十四字宛、或は九百五十五字宛、或は九百五十六字宛、或は九百五十七字宛、或は九百五十八字宛、或は九百五十九字宛、或は九百六十字宛、或は九百六十一字宛、或は九百六十二字宛、或は九百六十三字宛、或は九百六十四字宛、或は九百六十五字宛、或は九百六十六字宛、或は九百六十七字宛、或は九百六十八字宛、或は九百六十九字宛、或は九百七十字宛、或は九百七十一字宛、或は九百七十二字宛、或は九百七十三字宛、或は九百七十四字宛、或は九百七十五字宛、或は九百七十六字宛、或は九百七十七字宛、或は九百七十八字宛、或は九百七十九字宛、或は九百八十字宛、或は九百八十一字宛、或は九百八十二字宛、或は九百八十三字宛、或は九百八十四字宛、或は九百八十五字宛、或は九百八十六字宛、或は九百八十七字宛、或は九百八十八字宛、或は九百八十九字宛、或は九百九十字宛、或は九百九十一字宛、或は九百九十二字宛、或は九百九十三字宛、或は九百九十四字宛、或は九百九十五字宛、或は九百九十六字宛、或は九百九十七字宛、或は九百九十八字宛、或は九百九十九字宛、或は千字宛、或は千一字宛、或は千二字宛、或は千三字宛、或は千四字宛、或は千五字宛、或は千六字宛、或は千七字宛、或は千八字宛、或は千九字宛、或は千十字宛、或は千十一字宛、或は千十二字宛、或は千十三字宛、或は千十四字宛、或は千十五字宛、或は千十六字宛、或は千十七字宛、或は千十八字宛、或は千十九字宛、或は千二十字宛、或は千二十一字宛、或は千二十二字宛、或は千二十三字宛、或は千二十四字宛、或は千二十五字宛、或は千二十六字宛、或は千二十七字宛、或は千二十八字宛、或は千二十九字宛、或は千三十字宛、或は千三十一字宛、或は千三十二字宛、或は千三十三字宛、或は千三十四字宛、或は千三十五字宛、或は千三十六字宛、或は千三十七字宛、或は千三十八字宛、或は千三十九字宛、或は千四十字宛、或は千四十一字宛、或は千四十二字宛、或は千四十三字宛、或は千四十四字宛、或は千四十五字宛、或は千四十六字宛、或は千四十七字宛、或は千四十八字宛、或は千四十九字宛、或は千五十字宛、或は千五十一字宛、或は千五十二字宛、或は千五十三字宛、或は千五十四字宛、或は千五十五字宛、或は千五十六字宛、或は千五十七字宛、或は千五十八字宛、或は千五十九字宛、或は千六十字宛、或は千六十一字宛、或は千六十二字宛、或は千六十三字宛、或は千六十四字宛、或は千六十五字宛、或は千六十六字宛、或は千六十七字宛、或は千六十八字宛、或は千六十九字宛、或は千七十字宛、或は千七十一字宛、或は千七十二字宛、或は千七十三字宛、或は千七十四字宛、或は千七十五字宛、或は千七十六字宛、或は千七十七字宛、或は千七十八字宛、或は千七十九字宛、或は千八十字宛、或は千八十一字宛、或は千八十二字宛、或は千八十三字宛、或は千八十四字宛、或は千八十五字宛、或は千八十六字宛、或は千八十七字宛、或は千八十八字宛、或は千八十九字宛、或は千九十字宛、或は千九十一字宛、或は千九十二字宛、或は千九十三字宛、或は千九十四字宛、或は千九十五字宛、或は千九十六字宛、或は千九十七字宛、或は千九十八字宛、或は千九十九字宛、或は二千字宛、或は二千一字宛、或は二千二字宛、或は二千三字宛、或は二千四字宛、或は二千五字宛、或は二千六字宛、或は二千七字宛、或は二千八字宛、或は二千九字宛、或は二千十字宛、或は二千十一字宛、或は二千十二字宛、或は二千十三字宛、或は二千十四字宛、或は二千十五字宛、或は二千十六字宛、或は二千十七字宛、或は二千十八字宛、或は二千十九字宛、或は二千二十字宛、或は二千二十一字宛、或は二千二十二字宛、或は二千二十三字宛、或は二千二十四字宛、或は二千二十五字宛、或は二千二十六字宛、或は二千二十七字宛、或は二千二十八字宛、或は二千二十九字宛、或は二千三十字宛、或は二千三十一字宛、或は二千三十二字宛、或は二千三十三字宛、或は二千三十四字宛、或は二千三十五字宛、或は二千三十六字宛、或は二千三十七字宛、或は二千三十八字宛、或は二千三十九字宛、或は二千四十字宛、或は二千四十一字宛、或は二千四十二字宛、或は二千四十三字宛、或は二千四十四字宛、或は二千四十五字宛、或は二千四十六字宛、或は二千四十七字宛、或は二千四十八字宛、或は二千四十九字宛、或は二千五十字宛、或は二千五十一字宛、或は二千五十二字宛、或は二千五十三字宛、或は二千五十四字宛、或は二千五十五字宛、或は二千五十六字宛、或は二千五十七字宛、或は二千五十八字宛、或は二千五十九字宛、或は二千六十字宛、或は二千六十一字宛、或は二千六十二字宛、或は二千六十三字宛、或は二千六十四字宛、或は二千六十五字宛、或は二千六十六字宛、或は二千六十七字宛、或は二千六十八字宛、或は二千六十九字宛、或は二千七十字宛、或は二千七十一字宛、或は二千七十二字宛、或は二千七十三字宛、或は二千七十四字宛、或は二千七十五字宛、或は二千七十六字宛、或は二千七十七字宛、或は二千七十八字宛、或は二千七十九字宛、或は二千八十字宛、或は二千八十一字宛、或は二千八十二字宛、或は二千八十三字宛、或は二千八十四字宛、或は二千八十五字宛、或は二千八十六字宛、或は二千八十七字宛、或は二千八十八字宛、或は二千八十九字宛、或は二千九十字宛、或は二千九十一字宛、或は二千九十二字宛、或は二千九十三字宛、或は二千九十四字宛、或は二千九十五字宛、或は二千九十六字宛、或は二千九十七字宛、或は二千九十八字宛、或は二千九十九字宛、或は三千字宛、或は三千一字宛、或は三千二字宛、或は三千三字宛、或は三千四字宛、或は三千五字宛、或は三千六字宛、或は三千七字宛、或は三千八字宛、或は三千九字宛、或は三千十字宛、或は三千十一字宛、或は三千十二字宛、或は三千十三字宛、或は三千十四字宛、或は三千十五字宛、或は三千十六字宛、或は三千十七字宛、或は三千十八字宛、或は三千十九字宛、或は三千二十字宛、或は三千二十一字宛、或は三千二十二字宛、或は三千二十三字宛、或は三千二十四字宛、或は三千二十五字宛、或は三千二十六字宛、或は三千二十七字宛、或は三千二十八字宛、或は三千二十九字宛、或は三千三十字宛、或は三千三十一字宛、或は三千三十二字宛、或は三千三十三字宛、或は三千三十四字宛、或は三千三十五字宛、或は三千三十六字宛、或は三千三十七字宛、或は三千三十八字宛、或は三千三十九字宛、或は三千四十字宛、或は三千四十一字宛、或は三千四十二字宛、或は三千四十三字宛、或は三千四十四字宛、或は三千四十五字宛、或は三千四十六字宛、或は三千四十七字宛、或は三千四十八字宛、或は三千四十九字宛、或は三千五十字宛、或は三千五十一字宛、或は三千五十二字宛、或は三千五十三字宛、或は三千五十四字宛、或は三千五十五字宛、或は三千五十六字宛、或は三千五十七字宛、或は三千五十八字宛、或は三千五十九字宛、或は三千六十字宛、或は三千六十一字宛、或は三千六十二字宛、或は三千六十三字宛、或は三千六十四字宛、或は三千六十五字宛、或は三千六十六字宛、或は三千六十七字宛、或は三千六十八字宛、或は三千六十九字宛、或は三千七十字宛、或は三千七十一字宛、或は三千七十二字宛、或は三千七十三字宛、或は三千七十四字宛、或は三千七十五字宛、或は三千七十六字宛、或は三千七十七字宛、或は三千七十八字宛、或は三千七十九字宛、或は三千八十字宛、或は三千八十一字宛、或は三千八十二字宛、或は三千八十三字宛、或は三千八十四字宛、或は三千八十五字宛、或は三千八十六字宛、或は三千八十七字宛、或は三千八十八字宛、或は三千八十九字宛、或は三千九十字宛、或は三千九十一字宛、或は三千九十二字宛、或は三千九十三字宛、或は三千九十四字宛、或は三千九十五字宛、或は三千九十六字宛、或は三千九十七字宛、或は三千九十八字宛、或は三千九十九字宛、或は四千字宛、或は四千一字宛、或は四千二字宛、或は四千三字宛、或は四千四字宛、或は四千五字宛、或は四千六字宛、或は四千七字宛、或は四千八字宛、或は四千九字宛、或は四千十字宛、或は四千十一字宛、或は四千十二字宛、或は四千十三字宛、或は四千十四字宛、或は四千十五字宛、或は四千十六字宛、或は四千十七字宛、或は四千十八字宛、或は四千十九字宛、或は四千二十字宛、或は四千二十一字宛、或は四千二十二字宛、或は四千二十三字宛、或は四千二十四字宛、或は四千二十五字宛、或は四千二十六字宛、或は四千二十七字宛、或は四千二十八字宛、或は四千二十九字宛、或は四千三十字宛、或は四千三十一字宛、或は四千三十二字宛、或は四千三十三字宛、或は四千三十四字宛、或は四千三十五字宛、或は四千三十六字宛、或は四千三十七字宛、或は四千三十八字宛、或は四千三十九字宛、或は四千四十字宛、或は四千四十一字宛、或は四千四十二字宛、或は四千四十三字宛、或は四千四十四字宛、或は四千四十五字宛、或は四千四十六字宛、或は四千四十七字宛、或は四千四十八字宛、或は四千四十九字宛、或は四千五十字宛、或は四千五十一字宛、或は四千五十二字宛、或は四千五十三字宛、或は四千五十四字宛、或は四千五十五字宛、或は四千五十六字宛、或は四千五十七字宛、或は四千五十八字宛、或は四千五十九字宛、或は四千六十字宛、或は四千六十一字宛、或は四千六十二字宛、或は四千六十三字宛、或は四千六十四字宛、或は四千六十五字宛、或は四千六十六字宛、或は四千六十七字宛、或は四千六十八字宛、或は四千六十九字宛、或は四千七十字宛、或は四千七十一字宛、或は四千七十二字宛、或は四千七十三字宛、或は四千七十四字宛、或は四千七十五字宛、或は四千七十六字宛、或は四千七十七字宛、或は四千七十八字宛、或は四千七十九字宛、或は四千八十字宛、或は四千八十一字宛、或は四千八十二字宛、或は四千八十三字宛、或は四千八十四字宛、或は四千八十五字宛、或は四千八十六字宛、或は四千八十七字宛、或は四千八十八字宛、或は四千八十九字宛、或は四千九十字宛、或は四千九十一字宛、或は四千九十二字宛、或は四千九十三字宛、或は四千九十四字宛、或は四千九十五字宛、或は四千九十六字宛、或は四千九十七字宛、或は四千九十八字宛、或は四千九十九字宛、或は五千字宛、或は五千一字宛、或は五千二字宛、或は五千三字宛、或は五千四字宛、或は五千五字宛、或は五千六字宛、或は五千七字宛、或は五千八字宛、或は五千九字宛、或は五千十字宛、或は五千十一字宛、或は五千十二字宛、或は五千十三字宛、或は五千十四字宛、或は五千十五字宛、或は五千十六字宛、或は五千十七字宛、或は五千十八字宛、或は五千十九字宛、或は五千二十字宛、或は五千二十一字宛、或は五千二十二字宛、或は五千二十三字宛、或は五千二十四字宛、或は五千二十五字宛、或は五千二十六字宛、或は五千二十七字宛、或は五千二十八字宛、或は五千二十九字宛、或は五千三十字宛、或は五千三十一字宛、或は五千三十二字宛、或は五千三十三字宛、或は五千三十四字宛、或は五千三十五字宛、或は五千三十六字宛、或は五千三十七字宛、或は五千三十八字宛、或は五千三十九字宛、或は五千四十字宛、或は五千四十一字宛、或は五千四十二字宛、或は五千四十三字宛、或は五千四十四字宛、或は五千四十五字宛、或は五千四十六字宛、或は五千四十七字宛、或は五千四十八字宛、或は五千四十九字宛、或は五千五十字宛、或は五千五十一字宛、或は五千五十二字宛、或は五千五十三字宛、或は五千五十四字宛、或は五千五十五字宛、或は五千五十六字宛、或は五千五十七字宛、或は五千五十八字宛、或は五千五十九字宛、或は五千六十字宛、或は五千六十一字宛、或は五千六十二字宛、或は五千六十三字宛、或は五千六十四字宛、或は五千六十五字宛、或は五千六十六字宛、或は五千六十七字宛、或は五千六十八字宛、或は五千六十九字宛、或は五千七十字宛、或は五千七十一字宛、或は五千七十二字宛、或は五千七十三字宛、或は五千七十四字宛、或は五千七十五字宛、或は五千七十六字宛、或は五千七十七字宛、或は五千七十八字宛、或は五千七十九字宛、或は五千八十字宛、或は五千八十一字宛、或は五千八十二字宛、或は五千八十三字宛、或は五千八十四字宛、或は五千八十五字宛、或は五千八十六字宛、或は五千八十七字宛、或は五千八十八字宛、或は五千八十九字宛、或は五千九十字宛、或は五千九十一字宛、或は五千九十二字宛、或は五千九十三字宛、或は五千九十四字宛、或は五千九十五字宛、或は五千九十六字宛、或は五千九十七字宛、或は五千九十八字宛、或は五千九十九字宛、或は六千字宛、或は六千一字宛、或は六千二字宛、或は六千三字宛、或は六千四字宛、或は六千五字宛、或は六千六字宛、或は六千七字宛、或は六千八字宛、或は六千九字宛、或は六千十字宛、或は六千十一字宛、或は六千十二字宛、或は六千十三字宛、或は六千十四字宛、或は六千十五字宛、或は六千十六字宛、或は六千十七字宛、或は六千十八字宛、或は六千十九字宛、或は六千二十字宛、或は六千二十一字宛、或は六千二十二字宛、或は六千二十三字宛、或は六千二十四字宛、或は六千二十五字宛、或は六千二十六字宛、或は六千二十七字宛、或は六千二十八字宛、或は六千二十九字宛、或は六千三十字宛、或は六千三十一字宛、或は六千三十二字宛、或は六千三十三字宛、或は六千三十四字宛、或は六千三十五字宛、或は六千三十六字宛、或は六千三十七字宛、或は六千三十八字宛、或は六千三十九字宛、或は六千四十字宛、或は六千四十一字宛、或は六千四十二字宛、或は六千四十三字宛、或は六千四十四字宛、或は六千四十五字宛、或は六千四十六字宛、或は六千四十七字宛、或は六千四

我が国の歴史を通観するに、一種の特殊の精神が、連綿として一貫し、その中心となるものは、皇室と国民との関係である。我が国は、皇室を中心として、国民が、一致協力して、国家の発展を図ってきたのである。

我が国の歴史は、皇室と国民との関係を、中心として、発展してきたのである。

池野用義

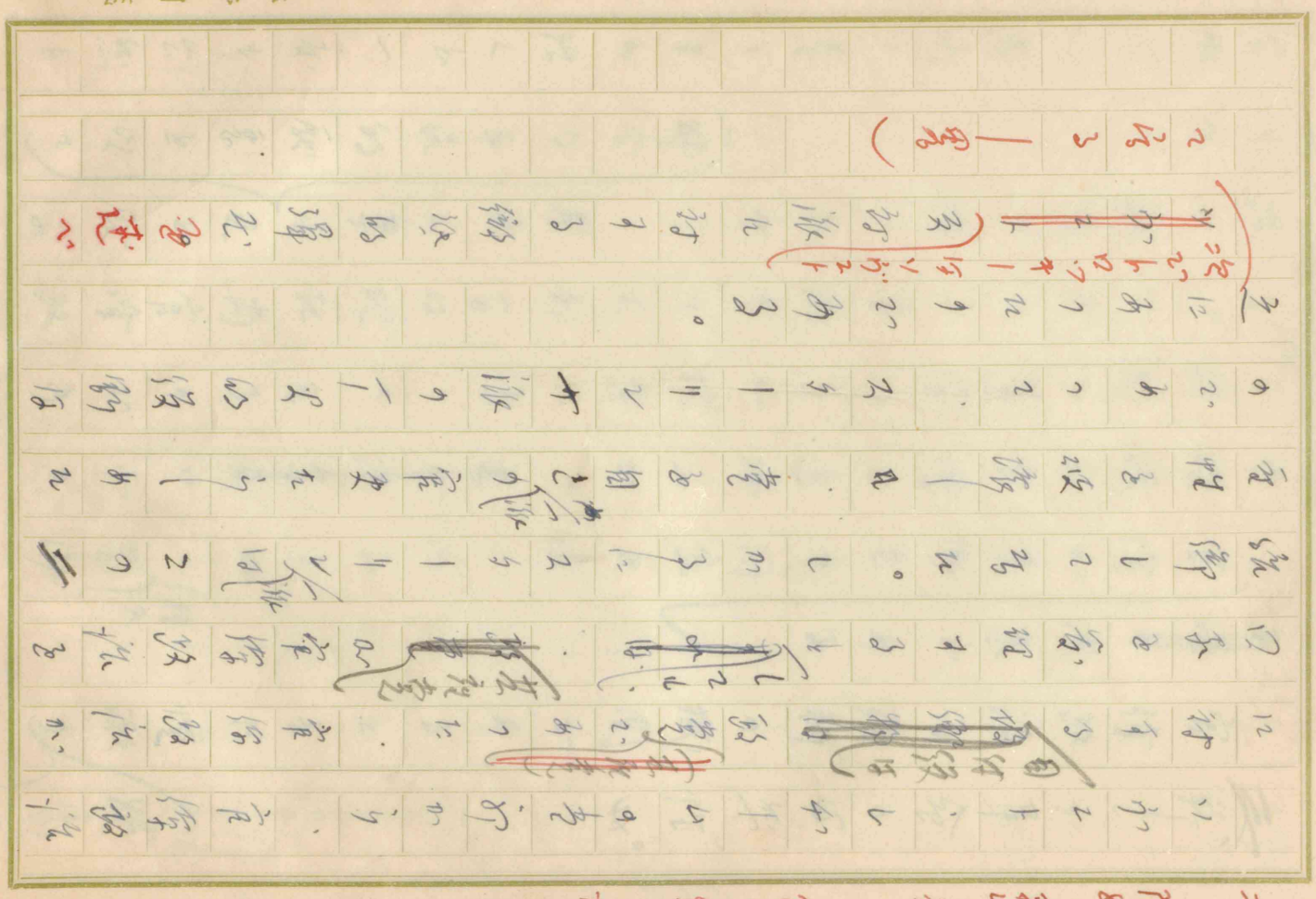
No. 2

私は近頃ちょっとに
ナイフを研ぐことが
いやになりました。
何でもかんでもアイ
ドルにしようとする
ことは、なんだか
変な感じです。
でも、
池野
用義

ニ
ヲ
ヨ
ハ
ヒ
ヘ
ト
チ
リ
ヌ
ル
ヲ
ワ
カ
ヨ
タ
レ
ソ
ツ
ネ
ナ
ラ
ム
ウ
ヰ
ノ
オ
ク
ヤ
マ
ケ
フ
コ
エ
テ
ア
サ
キ
ユ
メ
ミ
シ
ヱ
ヒ
モ
セ
ス
ン

池野用箋

三、「四級の教師になるまでの過程」



三、新しき革命の必然性。

官僚政治は強制の機関である。

不満の源泉である。

官僚が万御方の国家を喰ひものすかの特又万御

者階級が官僚を追掃おか、主が決定せりつて

ト称する運命は立が決定に従つて生ずるすでも

る。ソがてト万御方の大部分は現社尚官僚政

治に敬意を持つて居り、農民大衆も之を厭お

て居る。

健全な平民的感覚を以て

万御方が農民と異り来れば強んと一致せ公然と

池野用箋

No. 22

[illegible]

[illegible]

キリスト教徒に対する官憲政治は自然の暴力行為に訴へ、暗殺、死刑を以て次々に行はれたのである。

政敵の追放、暗殺はボルシェヴィキ党員の特有の事件である。

一九三三年八月三日、一九三五年一月二日、ボルシェヴィキ党員は強力な武器で武装した個人的テロリストの集団に対する絶望的な行為の結果として出て来る。

個人的テロは我慢しかねるほどの苦痛を伴ふ政治的暗殺は、かつて、存在しなかつた。

なる微向であり、勿論一切の政治的発展の開始を報告するものである。

（例）現下の官僚政治に対する革命は社会的のものでなく、政治革命である。社会の経済的基礎や政治制度の変革が、その目的とするところは、勿論文化的特殊的機関を覆滅することは大なる（記）

（記）社会的影響を蒙ぶるものであるが、革命自体は政治革命の域を脱するものではない。

（目的が官僚専制政治機構の変革にある。）

既述まで書って見なかった程に、十月革命の運命が、政治並に全世界の運命と結びてゐる。

ソ聯邦の問題は今や、西班牙に於て、佛蘭西に於て、白耳義に於て、独逸に於て、決定されつゝある。若しソヴィエト官僚政治が、その犠牲なる人民大衆の間に、官僚政治に対する不満を生じ、ソ聯邦は破壊崩壊、改革にすり成りするならば、ソ聯邦の支配者の数既よりも、少くなる。若し官僚政治に対する不満がプロレタリアの支配者の数既よりも、少くなるから、ソヴィエトの支配者が、民衆と結びある。若し

と云て外国人に対して恥ずかしからぬ様に成て来る。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

戰時に於ける「リヴェット」

戰時に於ける「リヴェット」は有形的に作用する。

が傷はつてゐる。

第一にその元凶を究明する。

内乱の際に

ヴェトナムの革命運動

ヴェトナムの革命運動は

ヴェトナムの革命運動を

ヴェトナムの革命運動を

ヴェトナムの革命運動を

人ハ十三ヨリ数ヲ覚ヘ始メ、其後ニ書ヲ学ブ。子供ハ物ヲ見テ、ソレ
ヲ覚ヘ、ソレニ名ヲ付ケテ、ソレヲ思ヒ出シ、ソレヲ考ヘ、ソレヲ
ヒトニ話シ、ソレヲ書キ、ソレヲ算ヘ、ソレヲ測リ、ソレヲ作リ、
ソレヲ使フ。人ハ此ノ如クニ、ソノ大ナル能力ヲ、ソノ人ニ
ソノ大ナル能力ヲ与ヘラレタルモノデアル。

限であるといって差支ない。

第三にソ聯の経済力は恐るべきものがあって、その時と比較して著しく増大して居る。その結果経済は現在迄の如軍事的な色彩でその最大の依存をなしたが、更に地域の工業化はスターリンやはり地帯に全く新しい価値を与へた。

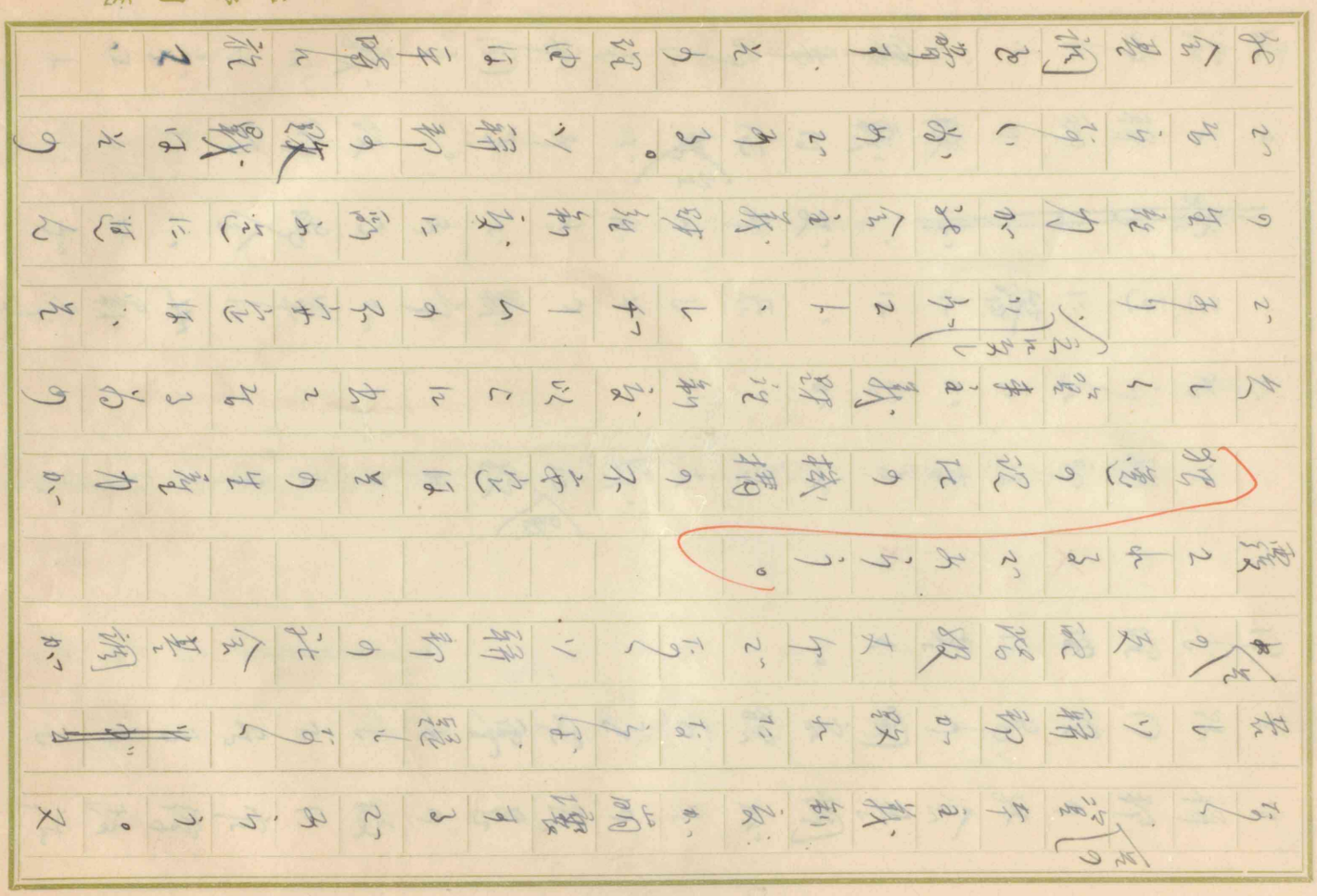
然しながらソ聯邦は依然として後進国である。この御を経済力の後進なることと、製品の質量が劣ることと、運輸機関の不備は領土の広大、人口の大なることによって

教育は国家の生命である。

教育は国家の生命である。教育は国家の生命である。教育は国家の生命である。

池野用藥

池野用箋



ソ聯邦の社会組織が其の人民の故に官僚政治と外国貿易の国家独占と軍事的に組織に基く。

ソ聯邦は未だ大戦に敗れすることなし

に為られるか否か。

正直に答れば、若しその戦争が軍に戦争

~~ばならぬ~~ば、ヴェルサイユの如きものである場合、ソ聯が

ト聯邦の敗戦は必然である。技術的に小

経済的に小、軍事的に弱国を義は以て

と比較にならぬほど強大である。従って西洋の帝国を我が国の革命により崩壊しない限り、世界革命以後のソヴィエトを崩壊しめることはできない。

[illegible]

△革命の干渉戦は[illegible]かなければならぬ。ソ連邦の社会基調を脅威する場合ばかりでなく、間接戦の場合へ[illegible]を必然崩壊される。

池野用箋

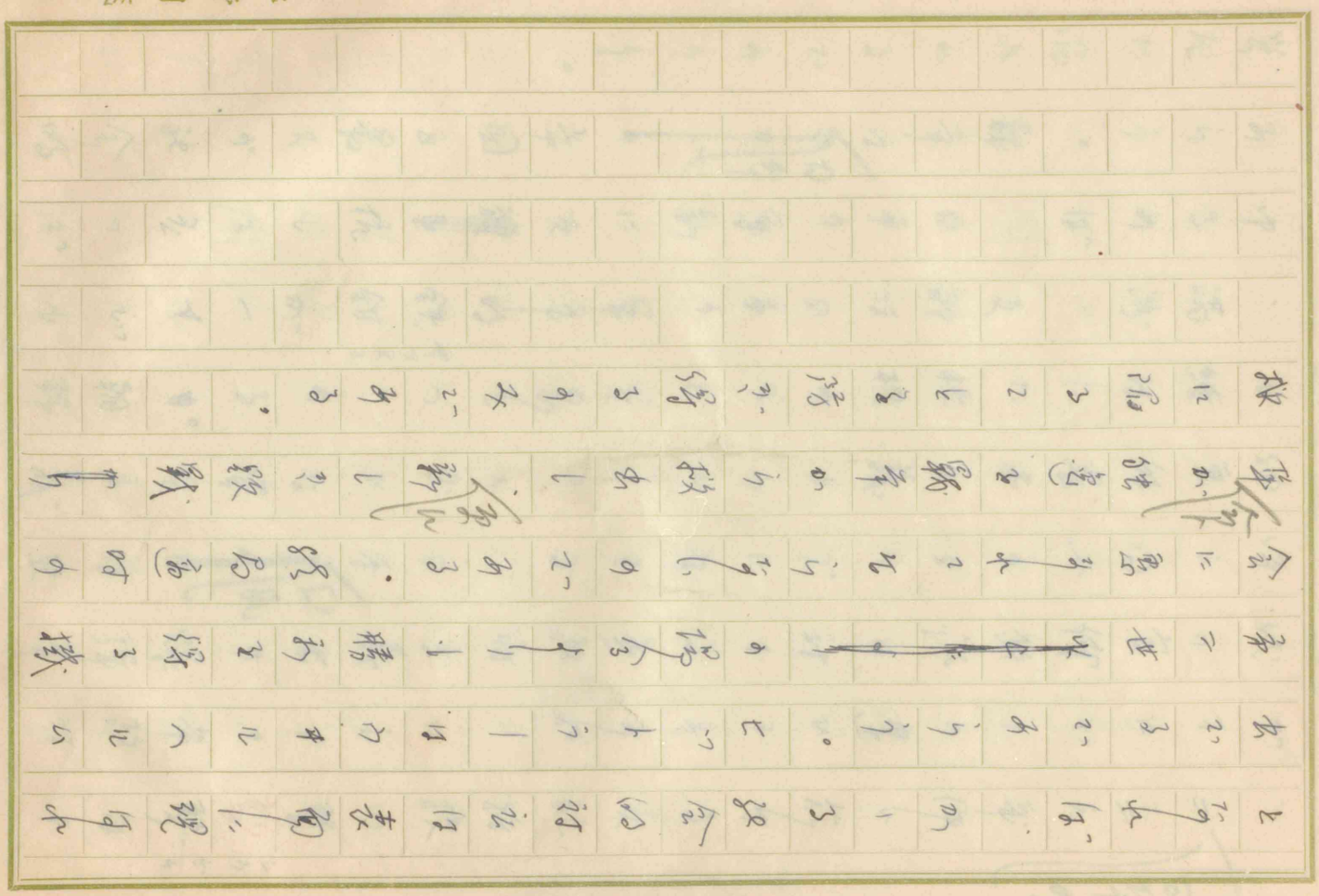
三月二日

三月二日に至る迄の間に於て内務大臣の命令を受け、内務省の事務は悉く新聞紙の報道する所に依れば、ブルシロフ、チルノヴィツ、ルツキ、ブロディ、ドブノ、ロヴノ、ジトミル、キエフ、ペレヤスラフ、ポルタワ、ハルコフ、ドネツ、ロストフ、ノヴオチエルカスク、ヴラディカフカス、ツアリツイン、サラトフ、ペンザ、カザン、ニジニノヴゴロド、ヤロスラフ、モスクワ、ヴラディミル、ツエルエフ、ペテルスブルグ、ヴイボルグ、ヴエルロ、ヴエンツエル、ヴエンツエルスブルグ、ヴエンツエルスブルグ、ヴエンツエルスブルグ

No. 45

すると文部省の方では教育上の問題として一応研究する必要があるとの事である。

池野用箋



池野用箋

二、三六年伊太利の反乱将校の撃滅はイ
タリヤの一の選挙を終了するそれ。ロシアの帝政対
代の官僚政治に対する無政府主義者の爆弾事
件と同一の方向に向ってトルコ、ペルシヤ、日本
と相重なる。日本は亜細亜的農本主義とブルジョ
ワ的資本主義との矛盾の下に窒息しつゝある。朝鮮
と結ばれた経済の下に軍事的鉄鉗が一寸でも
滞渋、支那は日本の軍事的侵略に対して立つて
ゆるめば、日本の軍部に反抗して立つて
あらう。最早は日本の帝国を最大が社会的
覚悟に溺入れるであらう。

No. 68

一に就らざるべからず。

国家の安危に関するの大なるは、平人の夫れに比すべからざるが如し。故に国家の事に当るや、之を敢行するの勇なかるべ[illegible]。

然れども敢行の上、之を決するは、実に難事なり。而して敢行の勇を養成するは、教育の力に待つこと多し。

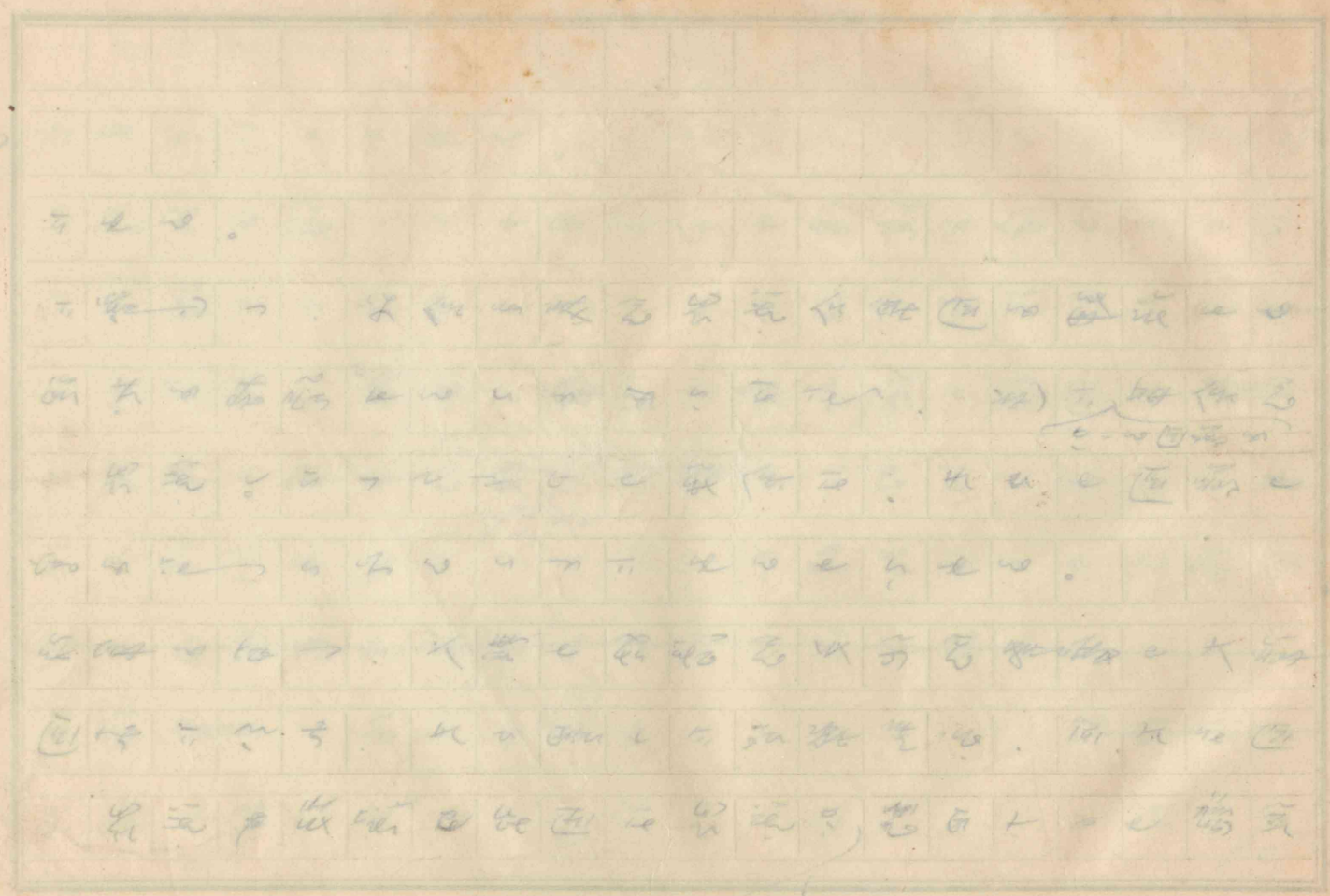
教育の目的は、人をして一定の思想を有せしめ、之を実行するの勇を養成するにあり

所謂「平和の敵」と言はれる戰場に立つて、リ研究の
破滅的敗北を防いで居るのである。研究の
軍事的敗北は、一時的現象に過ぎない。
地の法則のプロレタリアが勝利をもたらす場合
リ研究の軍事的敗北は、一時的な事柄
過ぎない。地面、帝國主義が他の法則に
從て消滅して行くなら、研究が軍事的
勝利を得て小ブルの繼續を守ることは
出來ないのである。

[illegible]

[illegible]

[illegible]



群馬県立図書館
0707163-2